



産学公連携コーディネータに聞く

中小企業の技術開発や製品開発の過程でさまざまなサポートをする都産技研の「産学公連携コーディネータ」。日頃受ける相談や、サポート内容の実際をご紹介します。

福岡 新五郎 コーディネータ 多摩テクノプラザ



Profile

平成22年着任。都産技研エンジニアリングアドバイザー兼任。古河電気工業(株)を経て、ウナック研究所を開設、個別企業の技術指導を行う。NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)プロジェクトにおけるアドバイザー、中小企業基盤整備機構の研究開発支援専門員等を歴任。後者では、サポーターインダストリー(ものづくり基盤技術)などの国のプロジェクトの管理・指導に携わる。工学博士。

福岡CDの担当曜日
毎週水曜日9時~17時

事業化し、成果が見えるマッチング それがコーディネータとしての私のポリシー

いろいろな機関でアドバイザーを務め、自身でも研究所を立ち上げて個別に技術指導を行ってきましたが、経験上、マッチングを行った結果、事業化が具体的になるように導いていかなくては意味がない、というのが私の思いです。

それに、例えば一年もの間に一人の人間を特定のプロジェクトにつけるのは、中小企業にとっては大変なことです。事業化に結びつかないとリスクも大きくなります。事業化には、良い大学の先生、良い企業、良いプロジェクトという条件が必要ですが、コーディネータ(CD)はそうした良い条件が揃うよう努力しなくてはなりません。

そこで、私はコーディネートする企業の工場や製品を必ず見ることにしています。もともと現場が好きですし、それを見ないで話を聞くだけでは、企業の課題を的確に把握することはできません。こう言うのは何ですが、建物は古く

でも、素晴らしい仕事をされている中小企業もあります。そうした現場を見ることによって、よりの確なアイデアやサービスを提供できると思っています。

都産技研では、ラボに入居している企業と他の企業・機関とのマッチングもお手伝いしています。画期的な良い製品を開発したら、やはり事業化に結びつけたいですし、紆余曲折を経ながらも実際に成功しつつある例もあるので、やり甲斐を感じていますね。

今後は、医療介護系のプロジェクトをマッチングして事業化するお手伝いをしたいと思っています。国の成長戦略にも医療機器が取り上げられていますので、認可が下りるのに時間がかかるという現状の問題も遠からず解決されるでしょうし、介護者が必ずと言っていいほど直面する腰痛を回避するための介護ロボットなども、早急に実用化されねばならないでしょう。

●事例紹介

【産学連携の例】「油圧動力システムに使用する油中気泡除去技術の開発」の事業化共同開発

半導体装置の製造を主事業とする株式会社TNKは、法政大学と連携して油圧効率を改善する油中の気泡除去装置の開発を実施。高い精度のシミュレーション結果を得て、装置化における最適設計を可能に。そこで、アドバイザー企業の株式会社小松製作所(以下、コマツ)に共同開発への方向付けを決断するようマッチングを行いました。同社立ち会いのもと、デモ実験も行い、決断を促したところ、平成25年度に具体的なフィージビリティスタディに入ることで合意しました。

相談→共同研究までの経緯

- 平成22年 6月 多摩地域の大学を会員とし、特許を売る際の仲立ちや産学連携のコーディネートなどを行う(株)TAMA-TLOから相談あり。
- 平成22年 8月 福岡CD、(株)TNKの担当者と会い、プロジェクトについてヒアリングを行う。
- 平成24年 10月 コマツを訪問し、アドバイザーとして参加していただけるよう依頼。
- 平成24年 12月 コマツが共同開発に基本合意。
- 平成25年 2月 成果報告会を兼ねたワークショップを開催。コマツ以外の他企業も高い関心を示す。



福岡 CD 建設機械部品への進出が実現すれば、(株)TNKの事業の柱を1つ増やすことが可能となります。

Message 中小企業の皆さんへ



相談したいことがあっても、どこに何を頼んだらいいかわからない場合は、都産技研へおいでください。多摩エリアには他機関のコーディネータもいますし、自治体の産業振興協会などでも中小企業のサポートをしているのでさまざまなアドバイスができます。都産技研はいまひとつ知られていないかもしれませんが、どんな相談にも必ず乗りますし、相談料は無料です。それぞれのコーディネータは経歴上幅広い人脈がありますので、思いも寄らない効果的なマッチングが実現するかもしれません。